

野球 平成29年度春季近畿地区高等学校野球大会

1回戦 彦根東 3 — 2 龍谷大平安



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



5月27日から平成29年度春季近畿地区高等学校野球大会が開催されている。2日目の28日には本校野球部と龍谷大平安高校が対戦し3—2で本校野球部が勝利した。

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
平安	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
彦根東	2	1	0	0	0	0	0	0	X	3

本校は1回裏、1番原晟也君(3—8)や3番高村真湖人君(3—8)の安打で走者一、三塁とし、相手投手のミスで1点を先制、4番岩本道徳君(3—5)の適時打でさらに1点を追加した。2回表に2点を返されたが、その裏先頭の7番條野正宗君(3—7)が安打で出塁、相手のミスで走者一、三塁となった。後続の2番太田剛志君(3—6)のスクイズがきわどく決まり1点を追加した。その後は両者譲らない戦いとなりこれが決勝点となった。

守備では先発の増居翔太君(2—4)が強打の平安打線に4回以降安打を許さず、合計被安打2、7奪三振と、滋賀大会から続けて安定したピッチングを見せた。

増居君は近畿大会に向けて課題であったコントロールと変化球を練習してきたそうである。自身の投球を「毎回毎回気の抜けない状況だった。守りに助けられたので打たせて捕っていた」と振り返った。また次の試合に向けて増居君は「強豪校なのでチャレンジャー精神であまり思い込まずに楽しみたい」と話した。

2点目となる適時打を放った岩本道徳君(3—5)は試合を「相手のミスで点が入っていたので流れて打った。初回に2点を取れたのが大きく、そこから流れがきてこっちの



▲増居君は後半三振を連発した。

ペースになった」と振り返った。次の試合に向けて岩本君は「今日でできなかったバントやサインプレーを100%出来るようにして、自分たちの野球で勝てるようにしたい」と話した。

3点目を追加した太田君はラインギリギリのスクイズについて「前打席で情けないバントをしてしまったので全力で1点を取りに行けた」と話し、次の試合に向けて「選抜の王者と戦えるのは良い機会なのでやれるだけやりたい」と意気込んだ。

監督の村中隆之先生は試合を「情けない。1点を取りに行かなくてはいけない場面でサインを見ていなかったり、バントを失敗したりしている。今日は野球の神様が勝たせてくれた」と振り返られた。また次の試合に向けて「今の3年生は2年前大阪桐蔭に勝ったときにスタンドで見ていた1年生。面白い縁だと思う。良い舞台をもらったので精一杯どうしたら勝てるか考えたい」と意気込まれた。

吹奏楽部の明石珠実さん(2—8)は「大きな舞台で応援させていただけてうれしい。気持ち伝わるようにしたい」と話した。

強打平安を2安打
近畿大会で勝利次戦は選抜王者大阪桐蔭